



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月27日

上場取引所 東

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社

コード番号 8129 URL <https://www.tohohd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 有働 敦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長兼経営企画・IR部長

(氏名) 河村 真

(TEL) 03 (6838) 2803

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	298,676	△4.4	1,772	△48.2	3,512	△30.2	2,271	△33.4
2020年3月期第1四半期	312,522	3.7	3,420	66.7	5,034	40.0	3,413	48.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 6,770 百万円 (— %) 2020年3月期第1四半期 △2,562 百万円 (— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	32.21	29.61
2020年3月期第1四半期	50.08	43.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	677,322	237,208	35.0
2020年3月期	670,827	231,009	34.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 237,044 百万円 2020年3月期 230,842 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期配当金の内訳 記念配当 10円00銭 普通配当 30円00銭

2021年3月期の配当につきましては、現時点では業績予想が困難なため未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を現時点で判断することが困難なことから未定としております。開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	78,270,142株	2020年3月期	78,270,142株
2021年3月期1Q	7,758,091株	2020年3月期	7,759,209株
2021年3月期1Q	70,511,405株	2020年3月期1Q	68,149,758株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における医療用医薬品市場は、2020年4月の薬価改定やジェネリック医薬品使用促進をはじめとする医療費抑制策の影響に加えて、国内外の経済活動の停滞を余儀なくされた新型コロナウイルスの感染リスクを警戒した患者様の受診抑制や緊急事態宣言下での営業活動自粛の影響により厳しい環境下で推移しました。

このような状況において、当社グループは、医療・健康・介護に携わる企業集団として、「非常時においても医薬品等を安定供給する」という当社グループの社会的使命の下、医療提供体制を維持すべく医薬品等の安定供給を最優先とした活動に努めました。また、当社グループのパート・派遣社員を含む全従業員に対して当事業年度上期に必要な枚数のサージカルマスクを配布するなど従業員の安全と感染拡大防止のための施策を行いました。

災害時広域防災拠点としての役割を果たす東京都大田区の京浜トラックターミナル内総合物流センター「TBCダイナベース」については、2020年秋の稼働を目指し建設を進めております。

また、当社連結子会社である東邦薬品株式会社が、2019年11月27日に独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO）を発注者とする医療用医薬品の入札に関し、独占禁止法の疑いがあるとして、公正取引委員会による立入検査を受けたことを厳粛に受け止め、コンプライアンスの再徹底を図っており、2020年7月3日に具体的なコンプライアンス強化のための取り組みについて公表いたしました。

当第1四半期の連結業績は、売上高298,676百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益1,772百万円（前年同期比48.2%減）、経常利益3,512百万円（前年同期比30.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,271百万円（前年同期比33.4%減）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。なお当連結会計年度より共創未来ファーマ株式会社を新たに連結子会社としたことに伴い、セグメント区分に医薬品製造販売事業を追加しております。

医薬品卸売事業においては、緊急事態宣言下での営業活動を原則自粛し、医薬品の安定供給を最優先とした活動を行いました。また、薬局本部システム『ミザル』を活用した配送回数の最適化や、納品時に検品を行わない「ノー検品」の推進など、顧客・当社双方の感染リスクと業務負担を軽減する非接触型配送ビジネスモデルを推進いたしました。さらに初診受付サービスやFuture ENIFをはじめとする顧客支援システムの推進やワークスタイルの変革と業務プロセスの見直し等による経費削減にも取り組みました。しかしながら新型コロナウイルスへの感染を警戒した患者様の受診抑制と緊急事態宣言下での営業自粛の影響により、当第1四半期の医薬品卸売事業の売上高は287,635百万円（前年同期比4.4%減）、セグメント利益（営業利益）は2,155百万円（前年同期比35.2%減）となりました。

調剤薬局事業においては、調剤報酬改定への対応に取り組むとともに、顧客支援システムを活用した店舗業務の効率化や標準化による収益性の改善に取り組みましたが、患者様の受診抑制に伴う処方箋応需枚数の減少により、売上高は22,512百万円（前年同期比5.1%減）、セグメント利益（営業利益）は118百万円（前年同期比82.2%減）となりました。

医薬品製造販売事業においては、今年6月の薬価追補収載においてジェネリック医薬品7成分22品目を新たに発売するなど、高品質・高付加価値のジェネリック医薬品の安定供給とともに製品ラインナップの拡充を図り、2020年6月末時点でのジェネリック医薬品の販売製品は81成分192品目となりました。この結果、売上高は2,248百万円、セグメント利益は341百万円となりました。

治験施設支援事業においては、売上高は37百万円（前年同期比28.0%減）、セグメント損失（営業損失）は103百万円、情報機器販売事業においては、売上高は206百万円（前年同期比9.2%減）、セグメント損失（営業損失）は59百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、475,498百万円となりました。これは、現金及び預金が5,381百万円増加し、受取手形及び売掛金が5,528百万円、商品及び製品が1,680百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.6%増加し、201,824百万円となりました。これは、有形固定資産が2,332百万円、投資有価証券が5,467百万円それぞれ増加したこと等によります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、677,322百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、376,933百万円となりました。これは、短期借入金が2,025百万円増加し、支払手形及び買掛金が2,528百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.2%増加し、63,181百万円となりました。これは、その他のうち繰延税金負債が1,939百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し、440,114百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、237,208百万円となりました。これは、利益剰余金が1,592百万円、その他有価証券評価差額金が4,498百万円それぞれ増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を現時点で判断することが困難なことから未定としております。

開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	84,219	89,601
受取手形及び売掛金	285,548	280,020
有価証券	10	10
商品及び製品	75,679	73,999
原材料及び貯蔵品	-	165
その他	32,838	32,127
貸倒引当金	△337	△425
流動資産合計	477,958	475,498
固定資産		
有形固定資産	96,399	98,732
無形固定資産		
のれん	760	655
その他	3,843	4,780
無形固定資産合計	4,604	5,436
投資その他の資産		
投資有価証券	80,351	85,819
その他	13,930	14,230
貸倒引当金	△2,416	△2,394
投資その他の資産合計	91,865	97,655
固定資産合計	192,869	201,824
資産合計	670,827	677,322

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,140	352,611
短期借入金	2,666	4,692
未払法人税等	5,267	1,462
賞与引当金	3,392	4,804
役員賞与引当金	82	20
返品調整引当金	287	261
資産除去債務	20	20
その他	11,144	13,059
流動負債合計	378,000	376,933
固定負債		
社債	20,063	20,058
長期借入金	19,223	18,594
退職給付に係る負債	2,042	2,229
資産除去債務	1,142	1,153
その他	19,345	21,145
固定負債合計	61,817	63,181
負債合計	439,818	440,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	49,271	49,378
利益剰余金	165,745	167,338
自己株式	△15,785	△15,783
株主資本合計	209,881	211,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,469	29,968
土地再評価差額金	△4,507	△4,507
その他の包括利益累計額合計	20,961	25,460
新株予約権	166	163
純資産合計	231,009	237,208
負債純資産合計	670,827	677,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	312,522	298,676
売上原価	284,841	273,387
売上総利益	27,681	25,288
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	10,506	10,140
賞与引当金繰入額	1,783	1,357
役員賞与引当金繰入額	17	20
退職給付費用	64	59
福利厚生費	2,033	1,901
車両費	268	214
貸倒引当金繰入額	△11	66
減価償却費	1,345	1,211
のれん償却額	164	105
賃借料	1,769	2,066
租税公課	575	551
仮払消費税の未控除費用	1,328	1,631
その他	4,414	4,189
販売費及び一般管理費合計	24,261	23,515
営業利益	3,420	1,772
営業外収益		
受取利息	16	14
受取配当金	521	529
受取手数料	806	810
負ののれん償却額	2	-
持分法による投資利益	0	5
その他	355	533
営業外収益合計	1,702	1,894
営業外費用		
支払利息	7	19
不動産賃貸費用	63	61
その他	17	73
営業外費用合計	88	153
経常利益	5,034	3,512

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	11	1
事業譲渡益	13	-
その他	1	0
特別利益合計	26	1
特別損失		
固定資産処分損	31	6
減損損失	22	7
投資有価証券売却損	-	8
投資有価証券評価損	-	12
その他	-	1
特別損失合計	54	35
税金等調整前四半期純利益	5,007	3,478
法人税、住民税及び事業税	2,181	1,755
法人税等調整額	△587	△548
法人税等合計	1,594	1,206
四半期純利益	3,413	2,271
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,413	2,271

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	3,413	2,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,966	4,478
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	19
その他の包括利益合計	△5,975	4,498
四半期包括利益	△2,562	6,770
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,562	6,770
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	288,655	23,641	51	174	312,522	—	312,522
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	12,240	70	—	53	12,364	△12,364	—
計	300,896	23,711	51	227	324,887	△12,364	312,522
セグメント利益又は損失(△)	3,324	663	△1	△61	3,924	△504	3,420

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	医薬品製造 販売事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上 高	275,309	22,511	656	37	161	298,676	—	298,676
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	12,326	0	1,591	—	44	13,963	△13,963	—
計	287,635	22,512	2,248	37	206	312,639	△13,963	298,676
セグメント利益又は 損失(△)	2,155	118	341	△103	△59	2,451	△679	1,772

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間の内部取引の消去、未実現利益の消去及び全社費用によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から共創未来ファーマ株式会社を連結の範囲に含めたことにより、「医薬品製造販売事業」を報告セグメントに追加しております。